九州地方

名前

問1　九州地方南部に位置するある都市は、2011年の九州新幹線の全線開業によって、大阪などの大都市圏からの移動時間が大幅に短縮されました。この交通網の整備により、観光やビジネス面で大きな変化が生じた都市はどこですか。（2022年 広島県公立入試 類似）

1. 鹿児島市
2. 宮崎市
3. 熊本市
4. 福岡市

問2　日本におけるブリ類の「海面漁獲量（天然もの）」と「海面養殖業（養殖もの）」の統計的な特徴を比較した説明として、正しいものを選びなさい。（2024年 大阪府公立入試 類似）

1. 海面漁獲量の上位5道県はすべて日本海側に位置しており、対馬海流を利用した漁行が盛んなため、養殖業よりも安定した生産量を維持している。
2. 海面養殖業の上位5県には愛媛県や高知県といった四国地方の県も含まれるが、九州地方の3県の合計収穫量には及ばない。
3. 海面養殖業の収穫量は全国で約13万7千トンにのぼり、約10万トンの海面漁獲量を上回っている。養殖の拠点は、鹿児島県や大分県などの九州地方に集中している。
4. 海面漁獲量では長崎県が全国1位であるが、海面養殖業では鹿児島県が1位となっており、九州地方内でも漁法によって主要な県が分かれている。

問3　ある県の農業データとして、年平均降水量が2007.0mm、農業産出額が3512億円であり、そのうち果実の産出額が362億円、野菜の産出額が1248億円と、野菜の占める割合が非常に高くなっています。この県として該当するものを選びなさい。（2026年 徳島県公立入試 類似）

1. 熊本県
2. 高知県
3. 愛媛県
4. 長野県

問4　福岡県の工業出荷額の内訳を、1970年と2010年で比較した際に読み取れる特徴として、正しい記述はどれですか。工業の種類は「鉄鋼・石油などの基礎素材」「自動車・テレビなどの加工組立」「衣食住関連」の3つに分類するものとします。（2019年 神奈川県公立入試 類似）

1. 1970年から2010年にかけて、出荷額の合計が減少したため、すべての項目において出荷額の実数が減少した。
2. 1970年時点では基礎素材製品の割合が大きかったが、2010年には自動車などの加工組立製品の重要性が相対的に高まった。
3. 1970年には加工組立製品が中心であったが、2010年には資源価格の高騰により基礎素材製品の割合が逆転して上昇した。
4. 2010年時点でも依然として基礎素材製品の出荷額が全体の8割以上を占めており、1970年からの構造変化は見られない。

問5　那覇市の気候統計における気温と降水量の特徴について、札幌市、松本市、高松市、福岡市と比較した記述として正しいものを選択してください。（2024年 栃木県公立入試 類似）

1. 梅雨や台風の影響により年間降水量は多い傾向にあるが、海洋の影響を受けるため、気温の年較差は内陸の松本市より小さい。
2. 南西諸島に位置するため、１月の平均気温が札幌市や福岡市を下回る月があり、冬の乾燥が非常に激しい。
3. １月と７月の月平均気温の差が松本市よりも大きいことが、亜熱帯に近い那覇市の気候の大きな特徴である。
4. 日本の最南端に位置するため、年平均気温は福岡市よりも高いが、年間の総降水量は瀬戸内の高松市よりも少ない。

問6　九州地方にある、温泉地として全国的に有名な観光都市の産業構造や社会状況について説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2019年 佐賀県公立入試 類似）

1. 旅館や飲食店などの観光関連のサービス業に従事する人が多いため、第3次産業の就業人口割合が極めて高いが、少子高齢化や人口減少という課題も抱えている。
2. 県庁所在地として行政機能や情報通信業が集中しているため、第3次産業の割合は高いが、都市開発により子育て世代の人口が増加している。
3. 広大な土地を活かした大規模な農業や畜産業が盛んであるため、第1次産業の就業者割合が他の都市に比べて高く、若者の流入が続いている。
4. 臨海部に鉄鋼業や自動車産業などの大規模な工場が集積しているため、第2次産業の就業者割合が最も高く、生産年齢人口の割合も非常に高い。

問7　九州地方の中央部に位置する熊本県には、阿蘇くじゅう国立公園に指定されている地域があります。この地域にある阿蘇山に見られる、火山の噴火によって形成された世界最大級の大きなくぼ地を何と呼びますか。（2025年 東京都公立入試 類似）

1. 盆地
2. 三角州
3. シラス台地
4. カルデラ

問8　鹿児島県などの地形図に見られる、標高の低い谷状の土地の利用について述べた文として、正しいものを次の中から選びなさい。（2020年 群馬県公立入試 類似）

1. 周辺に比べて水が得やすいため、水田として利用されることが多い。
2. 傾斜が急で水の確保が難しいため、主に森林として利用される。
3. 土壌の通気性を確保するため、水田ではなく果樹園として利用される。
4. 平坦で広大な面積を確保しやすいため、大規模な工業団地が造成される。

問9　2019年の空港別・訪日外国人の国・地域別割合を示した統計において、韓国からの利用者が約49.4%を占め、成田国際空港（約10.4%）や関西国際空港（約18.0%）と比較してその割合が極めて高い数値を示している国際空港はどこか、名称を答えなさい。（2022年 徳島県公立入試 類似）

1. 中部国際空港
2. 福岡空港
3. 那覇空港
4. 新千歳空港

問10　地方ごとの自然災害の発生状況を調べると、九州地方では土砂災害の発生件数が極めて多い傾向が見られる。この背景にある、九州地方南部に広がるシラスなどの火山性地層の性質として適切なものはどれか。（2023年 青森県公立入試 類似）

1. 保水力が高く、固まりやすい
2. 水を通しにくく、粘土質である
3. 水がしみこみやすく、もろい
4. 地盤が強固で、浸食されにくい

問11　2022年の東京都中央卸売市場における菊の出荷状況において、3月の総出荷量は約3000万本で、そのうち沖縄県産は約1200万本と4割近くを占めています。一方、9月の総出荷量は同程度ですが、沖縄県産はわずか3万本にとどまっています。このように、沖縄県が冬から春にかけての出荷に特化している理由として、経済的な背景をふまえて説明したものを選びなさい。（2024年 広島県公立入試 類似）

1. 冬場は航空運賃が安くなるため、その時期に合わせて集中的に出荷を行うことで、生産費と輸送費の合計を最小限に抑えている。
2. 本州の農家に比べて土地代が圧倒的に安いため、大規模な農地で生産を行うことで、輸送費の差を考慮しても十分な利益が出る仕組みになっている。
3. 冬の温暖な気候を利用して暖房費などの生産費を抑えることで、遠方の消費地へ運ぶための高い輸送費を補い収益を上げている。
4. 夏の台風被害を避けるために冬の栽培に特化しており、余った労働力を夏場はサトウキビ収穫に集中させることで生産費を下げている。

問12　九州地方の阿蘇山などに代表される、火山の大規模な噴火によって形成された、大きなくぼ地状の地形を何といいますか。（2022年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 三角州
2. カルデラ
3. シラス台地
4. 扇状地

答え合わせ・解説

問1	答え 1 鹿児島市	2011年に九州新幹線の博多から鹿児島中央までの区間が全線開業したことで、山陽新幹線との直通運転が始まりました。これにより、本州の大都市圏から九州南部へのアクセスが飛躍的に向上し、物理的な距離は変わらなくても移動にかかる時間が短くなる「時間距離」の短縮が実現しました。
問2	答え 3 海面養殖業の収穫量は全国で約13万7千トンにのぼり、約10万トンの海面漁獲量を上回っている。養殖の拠点は、鹿児島県や大分県などの九州地方に集中している。	日本のブリ類生産は、海面漁獲量よりも海面養殖業による収穫量の方が多いという構造になっています。養殖は鹿児島県（1位）、愛媛県（2位）、大分県（3位）、宮崎県（4位）、高知県（5位）と西日本の暖かな海域で盛んですが、特に鹿児島、大分、宮崎の九州3県によるシェアが非常に高いのが特徴です。一方、海面漁獲量では北海道が1位であり、長崎、島根、岩手、千葉と各地に分散しています。
問3	答え 1 熊本県	提示されたデータは、豊かな降水量と高い農業産出額を誇り、特に野菜の生産額が大きい熊本県の特徴を示しています。愛媛県や長野県は果実の割合がより高く、高知県は野菜の栽培が有名ですが産出額の全体規模が異なります。
問4	答え 2 1970年時点では基礎素材製品の割合が大きかったが、2010年には自動車などの加工組立製品の重要性が相対的に高まった。	福岡県を含む九州地方は、かつての重厚長大産業（鉄鋼など）から、1970年代以降の「シリコンアイランド」としてのIC（集積回路）生産や、その後の自動車工場の相次ぐ進出により「カーアイランド」と呼ばれるまでになりました。この流れを受けて、福岡県の工業構造も、1970年当時の基礎素材中心の構成から、2010年には加工組立型工業の割合が拡大する形へと変化を遂げています。
問5	答え 1 梅雨や台風の影響により年間降水量は多い傾向にあるが、海洋の影響を受けるため、気温の年較差は内陸の松本市より小さい。	那覇市は黒潮（暖流）の影響を受けるため、冬でも温暖で、１年を通した気温の変化が緩やかです。そのため、内陸部特有の気候を持ち気温差が激しい松本市と比較すると、１月と７月の気温差は小さくなります。降水量については、台風の進路にあたることや梅雨の影響で、全国的に見ても多い部類に入ります。福岡市よりも平均気温が低い、あるいは高松市よりも年降水量が少ないといった記述は、実際の統計上の傾向とは異なります。
問6	答え 1 旅館や飲食店などの観光関連のサービス業に従事する人が多いため、第3次産業の就業人口割合が極めて高いが、少子高齢化や人口減少という課題も抱えている。	観光都市では宿泊業や飲食業といったサービス業（第3次産業）が経済の中心となるため、その就業者割合は他産業に比べて圧倒的に高くなります。一方で、地方の観光地は若者の都市部への流出といった問題を抱えていることが多く、統計上も高齢者割合（65歳以上）が30%を超えるなど、人口減少と高齢化が顕著に表れる傾向があります。
問7	答え 4 カルデラ	阿蘇山は、大規模な噴火によって地表が陥没してできた「カルデラ」を持つことで世界的に知られています。この地形は熊本県の象徴的な景観の一つであり、カルデラの内部には草原が広がり、人々の生活圏や農地も存在しています。
問8	答え 1 周辺に比べて水が得やすいため、水田として利用されることが多い。	低地や谷状の地形は、河川からの取水や周囲からの湧水が得やすく、水利条件が良いのが特徴です。そのため、地図記号においても「水田」を示す記号が描かれることが一般的です。一方で、森林や工業団地などは、排水条件や地盤の安定性、広大な用地確保の観点から別の場所が選ばれる傾向にあります。
問9	答え 2 福岡空港	福岡空港は、九州の北部に位置し、朝鮮半島との地理的な距離が非常に近いという特性を持っています。そのため、成田や関西といった他の主要な国際空港に比べて、韓国からの観光客やビジネス客の利用が占める割合が圧倒的に高いことが統計上の大きな特徴です。このように地理的条件が訪日外国人の構成に直接影響を与えている事例として重要です。
問10	答え 3 水がしみこみやすく、もろい	九州地方南部に広がるシラス台地は、火山灰や軽石などが堆積してできた地層で覆われている。この地層は水はけが良く「水がしみこみやすい」一方で、粒の結びつきが弱く「もろい」という特徴を持つ。そのため、梅雨や台風による豪雨の際、大量の水を含んだ斜面が崩れやすくなり、土砂災害が多発する原因となっている。誤答の「保水力が高い」「粘土質」などは、一般的に水持ちが良い土壌の特徴であり、水はけの良いシラスの性質とは異なる。
問11	答え 3 冬の温暖な気候を利用して暖房費などの生産費を抑えることで、遠方の消費地へ運ぶための高い輸送費を補い収益を上げている。	沖縄県は東京などの大消費地から遠いため、出荷の際の輸送費が他県よりも高くなるという不利な点があります。しかし、冬でも温暖な気候を活かせば、ビニールハウスを温めるための燃料代（生産費）を大幅に節約できます。この「節約できた生産費」によって「高い輸送費」を相殺し、他地域との競争力を保っています。9月の出荷が少ないのは、他地域でも暖房なしで生産が可能になり、沖縄の優位性がなくなるためです。
問12	答え 2 カルデラ	火山の噴火によって地下のマグマが噴き出し、その後に地表が陥没したり、浸食を受けたりすることで、円形に近い巨大なくぼ地が形成されます。阿蘇山はこのカルデラの中に集落や田畑、鉄道が広がっている世界的にも珍しい地域です。選択肢にあるシラス台地は火山灰が堆積してできた台地であり、地形の形状や成り立ちが異なります。